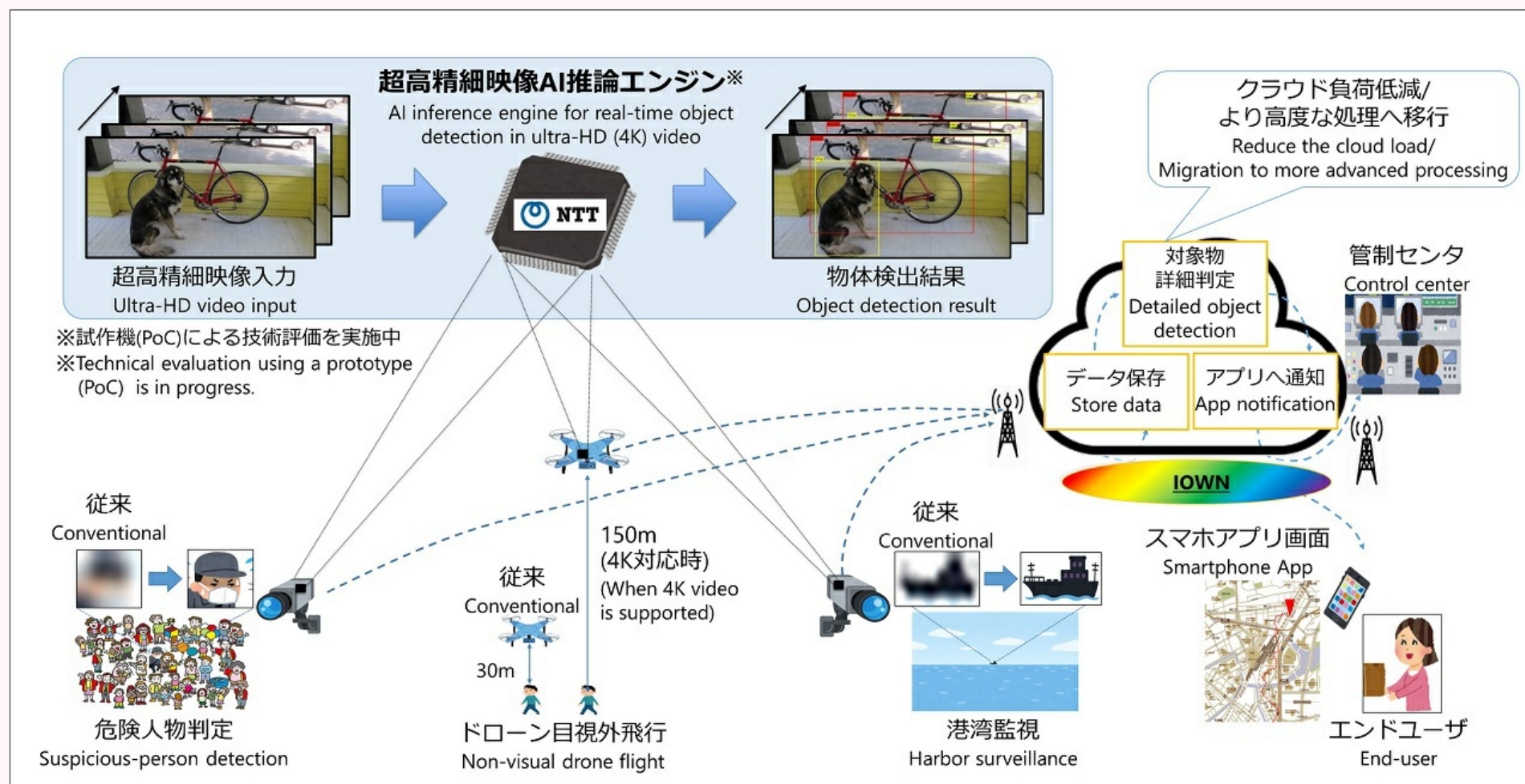




広範囲の物体を1台のカメラでリアルタイムに検出可能にします

概要

ドローンや監視カメラなどのエッジ/端末AI処理では、1台のカメラで広範囲の物体検出をリアルタイムかつ低電力で行うことが求められています。そこで超高精細映像AI推論エンジンのハードウェア構成技術の確立を進めています。本技術により、広範囲な物体検出やクラウドと連携した高度な処理が低コストで可能となります。



特徴

- AI推論手法による解像度制約を超高精細映像（例：4K）にまで拡張する技術
- 上記技術のリアルタイム実行を可能にするハードウェア・エンジン

利用シーン

- ドローンの飛行ルート下の通行人、人混みの中の危険人物や港湾での不審船などの検出
- 上記検出後、イベントドリブンで必要部分をデータ圧縮してクラウドに送信して詳細判定

今後の展開

- 本技術を実装した試作機による技術評価を進めながら、AI推論エンジンのさらなる低電力化・高スループット化を進め、1チップでの超高精細映像（4K）対応をめざします。

コラボレーションパートナー

- ArchiTek株式会社

出展社

日本電信電話株式会社

問い合わせ先：rdforum-iic-ml@hco.ntt.co.jp